



## 「県民総ぐるみ教育推進研修会」開催！



学校と地域をコーディネートする個人、組織、団体等を中心としたネットワーク体制を構築し、その活用による「よのなか教室」の実施拡充を通して、児童生徒に自分の生き方を見つけさせながら、学ぶ意欲の向上やふるさとを愛する心の醸成を図る（→県民総ぐるみによる『人づくり・地域づくり』をめざす）ことを目的に、10月～11月に県内7地区において「県民総ぐるみ教育推進研修会」を開催しました。公開授業への参加や参観のみならず、パネルディスカッションや全員参加型のワークショップ等により、教職員と地域・産業界の方々が協働して地域課題の解決に取り組もうという雰囲気や場が醸成されてきました。



### 【事業計画】

年次	研修内容
1年次 (H28)	○ 研修会の目的やゴールイメージ、地域連携の在り方など基本的な考え方 ○ 日向市キャリア教育支援センターの実践発表 等
2年次 (H29)	○ 公開授業 小学校（中学校）における「よのなか教室」 ○ 実践発表 中学校（小学校）及び高等学校における「よのなか教室」 等
3年次 (H30)	○ 公開授業 中学校（小学校）における「よのなか教室」 ○ 実践発表 小学校（中学校）及び高等学校における「よのなか教室」 等

### 公開授業（日向市立財光寺小学校 1年生） 生活科『ひろがれ えがお』



Q なぜ保護者に「よのなか先生」をお願いしたのか？

- A ① 保護者に関わってもらうことで、身近な大人のカッコよさに気付かせたい。  
② 各グループに入ってもらえることにより、児童一人一人が大人と関わる機会を増やしたい。

Q 本時までどのような関わり方をしていたのか？

- A ① 事前にアンケートを行った。  
② 本時の打合せ（役割分担、言葉かけの内容 等）を行った。  
③ 家庭生活の中での「保護者のあたたかい思い（願い）」を語っていただくようをお願いした。

公開授業（延岡市立恒富小学校 4年生） 総合学習『のべおかに生きる わたしたち』



Q お願いした内容はどのようなものか？

A ① 仕事の内容だけでなく、**ふるさと延岡で働き、暮らすことの魅力**を語っていただきたい。

② インタビュー形式にするので、児童からの質問に答える時間をしっかりと確保していただきたい。

公開授業（小林市立三松中学校 2年生）  
総合学習 『ワクワク WORK』

全体会におけるグループ協議のようす（延岡地区）  
「子どもたちのために、わたしたちができること」



○ 職場体験学習発表会を参観していただき、○ 『地域の力、学校の力』というテーマに沿って、ワールドカフェ方式で、協議を深めていきました。

参加者のコメント（一部）

教職員より

「今まで、講師をお招きする場合は、おまかせ状態になっていたが、私たち教師がメインとなり、ねらいに応じた話をしていただけのような働き（インタビュー）をしていくことの大切さを感じた。」

参加者（よのなか先生）より

「これまでは、なんとなく一斉に話すだけの一方通行の授業が多かったが、子どもたちからの質問にしっかりと答えていくと、これまで以上に子どもたちの目が真剣になり、非常に充実感があった。」

担当者の眼

教育支援課 教育支援担当

本格的な人口減少社会に突入した本県においては、人材の流出抑止や若者の定住、Uターン促進などと並行して『人づくり・地域づくり』が喫緊の課題となっている。今こそ「県民総ぐるみ」で学校と地域社会、産業界などが一丸となって、この課題の解決に取り組んでいかなければならない。以前のキャリア教育では、「職場体験学習、インターンシップ」がその代表として意識されていた時期もあったが、本県が提唱してきた「よのなか教室」の普及・拡充の取組により、多くの大人の方々が子ども達に夢や生きがいをただでなく、本県の魅力を語っていただけるようになった。この取組が、更に県内全域へ普及していくことが期待される。